

10月29日(木) 10:00-12:30

司会：中村 孝(大阪大学)

◇主催者挨拶

◇来賓挨拶

◆基調講演

「フラッシュメモリが切り拓く AI 時代の未来とキオクシアの挑戦」



キオクシア株式会社
執行役員
メモリ事業部長
井上 敦史

[講演要旨]

AIの進展により、データの生成・処理・活用の在り方は大きく変化しています。これに伴い、フラッシュメモリは単なる「記録デバイス」にとどまらず、AIインフラを支える重要な基盤として、その役割をさらに広げています。本講演では、フラッシュメモリの進化とAI時代における新たな価値を紹介するとともに、キオクシアの技術開発や製造拠点での取り組みを通じて、記憶の技術が切り拓く未来について展望します。

[講演者プロフィール]

1993年に早稲田大学理工学部を卒業後、東芝へ入社し、米国駐在などを経てメモリ事業に従事。部長・統括部長を歴任し、2023年にはメモリ技師長、2024年にはメモリ事業部長に就任。2026年4月より執行役員を務める。

◆基調講演

「東レ 100 年の歴史と半導体関連技術」



東レ株式会社
シニアフェロー
富川 真佐夫

[講演要旨]

東レ株式会社は今年、創立100年を迎え、これまでの歴史の中、常に極限追及を進め、数多くの先端素材を生み出してきた。この講演では、この歴史の中で生み出されてきた半導体に関連する材料・技術について、電子材料に加え、半導体の製造を下支えする水処理、樹脂、フィルム、製造・検査装置、分析などでの取り組みを紹介する。

[講演者プロフィール]

1986年 東京大学・修士修了、東レ株式会社入社 ポリイミドなど耐熱材料の機能化、電子材料の研究開発に従事、現在に至る

1992年-1994年 米国・アクロン大学

2008年 東レ株式会社・リサーチフェローに認定

2011年 東京科学大学（東京工業大学） 博士号取得

2020年 東レ株式会社・理事

2019年 高分子学会フェロー

2024年 東レ株式会社・シニアフェロー

受賞

2011年 高分子学会賞

2007年 日本化学会化学技術賞

2010年、2017年 地方発明表彰

2015年 全国発明表彰

2019年 Panpacific Microelectronics Symposium Best Paper賞

2020年 フォトポリマー学会業績賞

2020年 文部科学大臣表彰

◆基調講演

「世界の半導体市場は異次元領域の爆裂成長に入ったのだ！」

～シリコン列島ニッポンの誕生で、各左派の設備投資が一気促進～」



株式会社産業タイムズ社

執行役 会長

泉谷 渉

[講演要旨]

2026 年の半導体の世界市場は、前年比倍増の勢いで 200 兆円以上になると予想されている。これは半導体の歴史上、空前絶後のことであり、まさに異次元領域に入ったといえるだろう。こうした状況下で我が国ニッポンは、シリコン列島ともいべき活況を迎えている。半導体による国起こしが始まり、設備投資ラッシュが巻き起こっているのだ。

国内のキオクシア、ソニー、ラピダスなどの大型投資に加え、TSMC などの外国企業の日本進出も相次いでいる。今回講演では、最新取材をベースに、半導体の世界的な一大ブームの真相をレポートする。

[講演者プロフィール]

神奈川県横浜市出身。聖光学院中高等学校を経て、中央大学法学部政治学科卒業。

1977 年 株式会社産業タイムズ社に入社し、半導体担当の記者となる。以来 30 年以上にわたって第一線を走ってきた国内最古参の半導体記者であり、現在は産業タイムズ社取締役会長と特別編集委員を兼務する。

主な著書には『日本半導体 50 年史 時代を創った 537 人の証言』（共著・産業タイムズ社）、『日本半導体起死回生の逆転』、『次世代ディスプレイ勝者の戦略』、『半導体業界ハンドブック』、『電子材料王国ニッポンの逆襲』、『ニッポンの素材力』、『ニッポンの環境エネルギー力』、『シェールガス革命で世界は激変する』（以上、東洋経済新報社）、『これが半導体の全貌だ』、『これがディスプレイの全貌だ』（以上、かんき出版）、『日の丸半導体は死なず』（光文社）、『100 年企業～だけど最先端、しかも世界一』（亜紀書房）、『自動車世界戦争』（東洋経済新報社）などがある。

2011 年～2013 年 社団法人日本半導体ベンチャー協会会長。現在、一般社団法人日本電子デバイス産業協会理事・副会長。
